

2 講演

(2) 相模原市における マイ・タイムラインの取組について

相模原市 危機管理局



説明項目

- 1 本市でのマイ・タイムライン普及の取組について（説明：危機管理課 神田主事）
- 2 防災訓練でのマイ・タイムライン作成の取組状況（説明：緊急対策課 河野主査）



本市でのマイ・タイムライン普及の 取組について

- ① さがみはら防災ガイドブックの全面改訂及び全戸配布
- ② 学校教育でのマイ・タイムライン出前授業



① さがみはら防災ガイドブックの 全面改訂及び全戸配布

令和3年9月：全面改訂

令和3年10月：約35万部を市内の全戸に配布

地震や風水害などから命を守るために必要な、防災の基本情報をまとめた防災ガイドブックを全面改訂し、マイ・タイムラインの作成方法や記入用のシートを追加



① さがみはら防災ガイドブックの 全面改訂及び全戸配布

マイ・タイムラインを作ろう！

洪水や土砂災害といった風水害は、時間とともに状況が変化する非常に恐ろしい災害です。災害の発生に備えて、自分や家族がどのタイミングで何をするかをあらかじめ決めておけば、いざというときあわてずに行動することができます。風水害に備えて、一人一人がどのように行動するかを時間の経過にそって整理した「防災行動計画」～マイ・タイムライン～を作成しましょう。

マイ・タイムラインの作り方

次の6つのステップで安全に避難するための行動を考え、裏表紙の「マイ・タイムラインシート」に記入していきます。

マイ・タイムラインシート

- ステップ 1** ハザードマップなどで自宅（周辺）の状況を確認する
 避難が必要かどうか、ハザードマップなどを見て、自宅やその周辺に浸水や土砂災害のおそれがあるかを確認します。
- ステップ 2** 避難する場所を決める
 P13を参照して、避難する場所とその優先順位を決めておきましょう。あわせて、避難先までの経路も考えておきます。自宅が安全が確保できる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。
- ステップ 3** 避難情報や気象情報から自分の「避難の目安」を考える
 P11、17・18を参照して、避難情報だけでなく、大雨警報などの気象情報も入手して、どの情報が出されたときに避難を始めるか、自分や家族に合った避難のタイミングを考えておきましょう。
- ステップ 4** 避難をするときに何を持っていくか考える（非常用持ち出し品）
 P15を参照して、非常用持ち出し品を考えます。
※風水害時避難場所では、原則として食料など物資の配布は行いません。
- ステップ 5** 警戒レベルごとに自分や家族が何をするか、避難を完了するまでの行動を考える
 どのタイミングで何をするかを考えます。特に、避難を開始するまでの行動や、避難の際に注意することも考えます。
- ステップ 6** 共助の視点から地域に対しての行動を考える
 近所に避難の呼びかけを行ったり、高齢者や障害者など災害時に助けが必要な人を支援するなど、自分ができることを考えます。地域の中で話し合っておくことも大切です。



防災情報の入手方法

※P17・18以外にも、次のサイトで情報が入手できます。

国土交通省 川の防災情報	神奈川県 雨量水位情報	神奈川県 土砂災害情報ポータル	気象庁 キキクル（危険度分布）
-----------------	----------------	--------------------	--------------------

◎考えがまとまったら、裏表紙の「マイ・タイムラインシート」に記入しましょう！
一度作れば終わりではなく、生活や周囲の変化に合わせて定期的に見直すことが大切です。

08
マイ・タイムライン

08
マイ・タイムライン



②学校教育での マイ・タイムライン出前授業

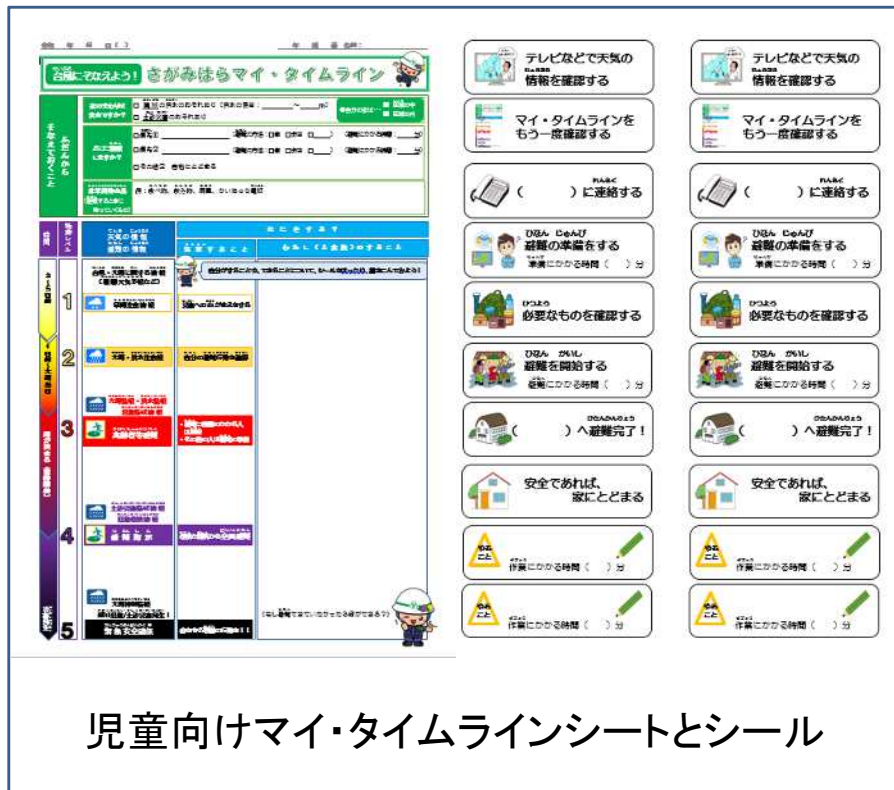
令和2年度から、
教育委員会と各区役所
が協力し、
市内の小中学校で防災
教育の一環として
マイ・タイムラインの
作成授業を実施



出前授業の様子



②学校教育での マイ・タイムライン出前授業



The image shows a screenshot of the 'Sagami My Time Line' website on the left, which is a user interface for creating a daily schedule. On the right, there is a grid of 20 activity stickers designed for children. These stickers include icons for weather checking, connecting to a mobile phone, preparing for school, checking necessary items, starting lessons, and safety reminders. Each sticker has a small illustration and text in Japanese.

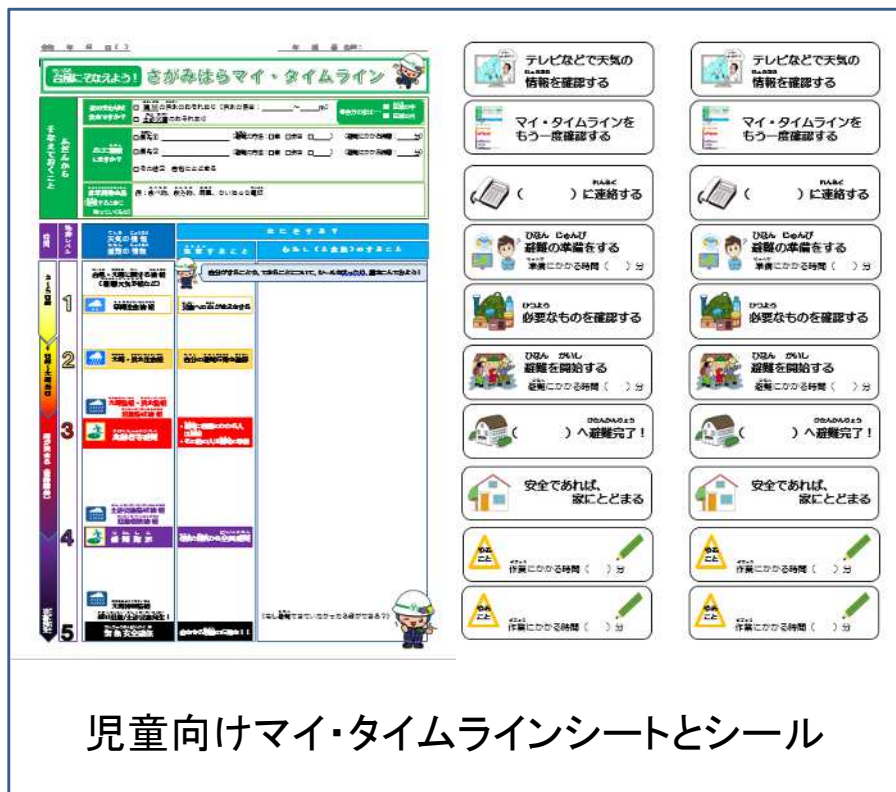
児童向けマイ・タイムラインシートとシール

工夫した点

- ①行動等のシールを作成
- ②ハザードマップを子どもたち用に作成
- ③学校の先生との役割分担により効果的に
- ④地域の特性に合わせて内容を変えて、より身近な題材を！



②学校教育での マイ・タイムライン出前授業



The image shows a screenshot of the 'Sagamihara My Time Line' website on the left, which includes a search bar, a calendar, and a list of activities. On the right, there are two columns of activity sheets and stickers. Each sheet has a title, an illustration, and a '作業にかかる時間' (Time taken for work) field. The stickers are designed to be used with the sheets.

児童向けマイ・タイムラインシートとシール

今後の課題点

- ①徐々に令和元年東日本台風を経験していない子どもたちが対象になっていくので、説明の方法を検討
- ②実施する学校を増やしていく



防災訓練でのマイ・タイムライン等作成の 取組状況

令和4年度相模原市風水害対策訓練 (境川流域)

危機管理局



令和4年6月5日(日)
午前10時～正午

境川の概要

- 城山湖付近を源とし都県境を南下、江の島付近で相模湾に注ぐ。
- 流域では昭和30年代前半から市街化が著しく、田畑が減少し、市街地化が進展。
- 流域の土地の「保水・遊水機能」低下により、大雨による洪水に対する危険性高まる。



令和4年度相模原市風水害対策訓練(境川流域)の概要

1 実施日時

令和4年6月5日(日)午前10時～正午

2 実施場所

相模原市立小山公民館 大会議室

3 参加者

(1) 訓練対象(13名)

宮下自主防災隊、丸山自主防災隊
(洪水浸水想定区域内の自治会)

(2) オブザーバー参加(6名)

小山地区連合自主防災隊(2名)
小山地区防災専門員(1名)
要配慮者利用施設職員(3施設、3名)

(3) 訓練担任(19名)

県職員: 県土整備局河港課職員(1名)
市職員: 副危機管理監以下(18名)

(4) 視察者(12名)

県議会議員: 1名、市議会議員: 1名
県職員: 7名
市職員: 危機管理局長兼危機管理監、中央区長
中央区役所地域振興課長

【実施時程】

訓練内容	時間	担当
集合完了	09:55	
開式、挨拶及び実施要領説明	09:55～10:00	挨拶：副危機管理監 説明：緊急対策課主査
第1課題（基礎講座）	10:00～10:50	講義：神奈川県河港課職員 緊急対策課主査 市職員巡回指導
休憩	10:50～11:00	
第2課題（図上訓練） 避難場所の確認と安全な 避難経路の図上検討	11:00～11:25	説明解説：緊急対策課主査 市職員巡回指導
第3課題（図上訓練） マイ・タイムラインの作成	11:25～11:50	説明解説：緊急対策課主査 市職員巡回指導
まとめ	11:50～12:00	総括：緊急対策課長 アンケート記入
解散	12:00	

第1課題(講義)

①「境川の防災対策について」

(県職員実施)

②「風水害対応の基礎知識」

③「風水害時避難場所について」

【10:00～10:50】

第1課題(講義)の状況



開式挨拶



視察者の状況



県職員による講義



市職員による講義

第2課題(図上訓練)

- ① 避難場所の確認と安全な避難経路の
図上検討
- ② 避難直前までに準備・確認すべき事項
- ③ 避難場所での行動について

【11:00～11:25】

避難場所の確認と安全な避難経路の図上検討

【皆様の机上に準備したもの】

- 小山地区を含んだハザードマップ
 - 小山地区の洪水浸水想定区域(想定最大規模)を記載した白地図
 - ビニール・シート
 - 油性マジックペン(黒・赤・青)
- ※修正用マジック消し、ティッシュ、紙テープは必要時にお渡しします。

【検討手順】

- ① ハザードマップ上での**施設**の位置と、最寄の**風水害時避難場所**を確認いたしましょう。
- ② 確認後、ビニール・シートを紙テープでハザードマップに**施設**と**風水害時避難場所**にシートがかかるように貼り付けます。
- ③ 明瞭な道路、河川、建物等を黒マジックでなぞり、ハザードマップとビニール・シートの照合が容易な目印とします。**赤マジック**で**施設**と**風水害時避難場所**に印をつけましょう。
- ④ **洪水浸水想定区域**を確認しつつ、**施設**から**風水害時避難場所**への避難経路を検討し、**青マジック**で避難経路を書き込みましょう。その際、橋・排水路等危険が予想される場所や**土砂災害警戒区域**を避けて経路を設定しましょう。

第2課題(避難経路の図上検討)の状況



壁添いの視察者は、要配慮者利用施設職員



第3課題(図上訓練)

「マイ・タイムラインの作成」

- ① 作成の狙い、意義
- ② マイ・タイムラインの作成要領
- ③ マイ・タイムライン作成実習

【11:25～11:50】

作成の狙い、意義

- 風水害は、時間とともに状況が変化する非常に危険度の高い災害ではあるが、事前に状況の推移をある程度**予測**できる可能性がある。
- 災害に備え、自分や家族がどのタイミングで何をするかをあらかじめ決めることで、いざという時に**慌てず**に**行動**できる。

将来の予見・可視化、備えあれば、憂いなし。

マイ・タイムラインの作成要領

- 1 ハザードマップなどで自宅(周辺)の状況を確認
洪水浸水想定地区内？土砂災害警戒区域内？
- 2 避難する場所を決定
親類・知人宅？避難場所？垂直避難？
- 3 避難情報や気象情報から自分の「避難の目安(開始のタイミング)」を考察
家族構成は？体調は？避難場所までの距離は？日没時刻は？
- 4 避難をするときに何を持っていくか考察(非常用持ち出し品)
外の気温は？服用薬は？感染防止のマスクの予備は？
- 5 警戒レベルごとに自分や家族が何をするか、避難を完了するまでの行動を考察
施錠は？火気の確認は？ブレーカーは？忘れ物は？
- 6 共助の視点から地域に対しての行動を考察
お隣さんに声掛けは？避難場所でのお手伝いは？

第3課題(マイタイムラインの作成実習)の状況



熱心に視察する佐々木県議

視察者も実習に取り組み 24

成果と課題

○成果事項

- ・ 訓練時間は2時間としたが、ほとんどの参加者が**理解容易**とのことであった。しかしながら、一部には講義の説明時間が短いとの指摘や、受け取る側(住民)の関心をより高めるべきとの指摘もあり、次回は**3時間程度の訓練**をすることが望ましい。
- ・ 図上訓練の間、**市職員等をサポート**につけたが、慣れない図上訓練も比較的順調に進み**参加者からも好評**であった。

○課題事項

- ・ **コロナ禍**の訓練であったため、参加者を限定する必要がある、また、避難訓練等実働を絡めた訓練実施にはハードルが高かった。
- ・ 図上訓練は、ほぼ**マンツーマン**で参加者に寄り添いつつ、訓練を進行する必要がある、職員の動員や、事前準備に負担がある。一方、訓練準備によって**職員自身の能力向上**になるメリットもあった。

以上、ご清聴ありがとうございました。

相模原市 危機管理局

